

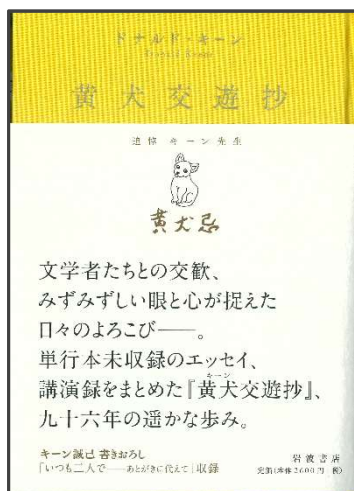
キーン先生の著作紹介

～ドナルド・キーンコレクションコーナーから～

2020年4月26日

北区中央図書館ではドナルド・キーンコレクションコーナーの資料として、キーン氏の著作を収集しています。この中から、最近刊行された2冊を紹介します。

きーんこうゆうしょう
『黄犬交遊抄』 岩波書店 2020.2.13 発行



三島由紀夫、安部公房などキーン氏と「交遊」のあった作家や研究者についてのエッセイや氏の専門分野に関する講演録など、日本で未発表の英文原稿、単行本未収録の作品、講演等が収録されています。あとがきは養子となったキーン誠己氏によるもので、十数年にわたるキーン氏との暖かい交流記録の中に最晩年の姿をうかがうことができます。

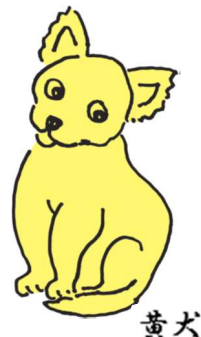
氏の96年の生涯をたどるとともに、在りし日のすがたを偲ぶのにふさわしい1冊です。

(請求記号 914.6/キン ISBN978-4-00-061388-0)

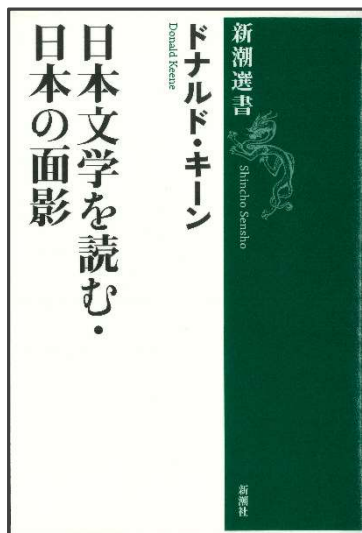
黄犬とは・・・

黄色い犬と書いて「キーン」と読みます。キーン先生が子どもの頃に飼っていたスピッツ犬のピンゴがモデルです。ことば遊びが好きなキーン先生らしいネーミングです。

キーン先生の命日にあたる2月24日は「黄犬(キーン)忌」と名付けられています。



『日本文学を読む・日本の面影』(新潮選書) 新潮社 2020.2.24 発行



二葉亭四迷から大江健三郎まで、近現代作家49名を取りあげた「日本文学を読む」を再録。1971年から1977年にかけて新潮社の雑誌『波』に連載された評論はキーン氏ならではの新鮮な視点と洞察に富んでいます。

また、1992年放送の「NHK人間大学」の講義録「日本の面影」は、日本文学をとおして、日本人の美意識がはぐくまれた背景や日本文化、歴史、芸術の神髄に至るまでわかりやすくひも解かれています。現代日本人にとって、日本文学・日本文化を知る手引書として最適です。

(請求記号 910.2/キン ISBN978-4-10-603851-8)